

---

# 海賊な俺と貴族な君

ペンペンさん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

海賊な俺と貴族な君

### 【Nコード】

N1720K

### 【作者名】

ペンペンさん

### 【あらすじ】

暴力で支配されているこの世界で生き残る方法は海賊になるか海軍になるかである。城崎 銀は海賊になり自由気ままに旅する話だ。

## 一話 海賊

俺こと城崎 銀 は海賊をしている。

まあ、そう言っても今は一人だし、船もない。おまけに、持ち物は刀と銃が一本と一丁と酒が一本というなんとも空しい状態だ。

この俺が住む世界は、暴力によって支配されている。

この世界で生き残るには、海賊か海軍になるしかない。

俺は海軍なんて縛られるのが嫌いだから海賊になった。

まあ、親父が海賊だったからな。(関係ねえか。)

だから今、とある国で適当に船を盗み仲間を集めたいと思っている。で、何かと情報が欲しいため酒場にいる。

「なあ兄ちゃん知ってるか？この国のとある貴族の娘は、世界で一番美しいといわれているらしいぞ。」

なんだいきなり。うわ！酒臭え！！そうとう酔ってんな。まあ、暇だし話相手になるか。

「何だつて？この国の貴族の娘が綺麗だつて言うのか？」

「ああ、気品にあふれていて、控え目で、女神な移り変わりとも言われている。さらに、船の貿易をしていて大層なお金持ちだ。」

「ほお、船の貿易か。じゃあそこにはいい船があるのか？」

「ああ、確か海軍が新しく作った。船でこのカリブの海で一番速いって言われてる。」

「いや。この海で一番速いのは『ブラック・レイン号』だ。」

「ん！ありゃあ、伝説の船だ。まああつたらこの海で一番速いな。」

「ああ、あ！それとその貴族の名前教えてくれねえか？」

「なんだ、兄ちゃん興味もったのか。いいぞ名前はローズ・サン・シルバーだ。」

「ありがとう。ちょっとあってくるよ。」

「ははは！気をつけろよ。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1720k/>

---

海賊な俺と貴族な君

2010年12月11日09時52分発行